学校番号	1015

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校標準現代文Ｂ（第一学習社）						
副教材等	新総合　図説国語　改定新版（東京書籍） 四訂版　漢字検定７～2 級対応　常用漢字クリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年次の基礎を引き続き、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけましょう。
・少しまとまった文章を読むことで、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、相手に伝えることを意識した「話す・聞く能力」や「書く能力」を磨きましょう。
・小説、評論、随筆など、様々なジャンルの文章に触れることで、多様な価値観や視野を手に入れてください。
・提出物の期限は守り、定期考査・小テストには計画的に学習を進めてください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 発問評価 指名音読 グループ課題 発表評価	記述の確認及び分析 課題の提出 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 指名音読 課題の提出	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	自己を見つめる	教材: 「『私』という『自分』」	○	○	○	○		a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 b:「自分らしく生きる」ことの思索を深め、各々にとって具体的にどう考えるかを、発表しあい、意見文が書ける。 c:文章の構成について理解している。本文のタイトルの意味するところを理解している。 d:全文を正しく音読できる。倒置法の効果について正しく理解している。	a:行動の観察・記述の点検 b:記述・発表の点検と確認 c:記述の点検と確認 d:記述の確認・定期考査
	言葉と生活	教材: 「情けは人の…」	○		○	○	○	a:わかりにくい言葉・表現・本文中の慣用句を辞書で調べている。 c:学習した表現で例文が作れる。作品の主題に迫り、自己の生き方に引きつけて考え、思索を深めている。 d:具体例を通じて筆者がどのようなことを言おうとしているのかを理解している。 e:ことわざの誤用が生じる要因を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認 d:記述の確認・定期考査 e:定期考査
	小説を読む(一)	教材: 「相棒」	○	○	○		○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 b: 時間の経過とともに登場人物の心理・行動がどのように変化したかを的確に理解し、自分の考えを話し合える。 c:タイトルの意味するところをつかみ、自分の考えを意見文として書ける。 e:全文を正しく音読できる。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察・発表評価 c:記述の点検と確認 e:記述の確認・定期考査

後期	科学と情報	教材: 「僕らの時代のメディア・リテラシー」	○		○	○	○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。「四捨五入」の現象を自己の問題として考えている。 c:論の展開のしかたを理解し、論旨を的確に把握している。具体例と抽象的な記述との関係を理解し、自身のメディアへの関わり方についての批判文が書ける。 d:指示語、接続語について正しく理解している。 e:メディアの「切り上げ」「切り下げ」について理解し、日常生活での身近な具体例をあげられる。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認 d:行動の観察と確認 e:記述の確認・定期考査
	詩を味わう	教材: 「永訣の朝」	○	○			○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。筆者の言葉に対するこだわりや表現への思いを読み取り、言語に対する完成を磨く。 b:作者の思いに迫り、自己の生き方にひきつけて考えをまとめられる。 e:全文を正しく音読できる。表現上の特色を理解し、妹の死と作者の変化をあわせて考えられる。	a:行動の観察・記述の点検 b:記述の点検と確認 e:記述の確認・定期考査

	小説を読む(三)	教材: 「こころ」	○		○	○	○	a:近代のわかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。独特の時代背景と主人公の生き方を捉えられる。 c: 登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかみ、文にまとめられる。 d:全文を正しく音読できる。自己の生き方と登場人物の言動を対比し、「私」の気持ちを理解できる。 e:小説の舞台である明治という時代について理解している。漱石の生き方と他の作品を読み、より深い作品理解に努める。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認 d:行動の観察・定期考査 e:記述・発表の観察と定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。